

## 第82回 日和田山・物見山コース ハイキング

2022. 9. 30.

いきいきスポーツクラブ

日和田山(ひわださん)=305m、物見山(ものみやま)=370m 日高市 体力度=☆☆

岩場のスリルと展望、豊かな季節感を楽しむ充実の山

(1) 催行日: 11月8日(火) **午前6時54分** 大宮駅 まめの木 集合

雨天順延 (前日午後6時の予報で判断し、中止の場合は連絡網で全員に連絡。)

(2) 歩行時間:3時間15分、歩行距離:8Km 標高差:265m

(3) 大宮駅(7:04)ー川越線(川越行)ー(7:30)川越駅(7:36)ー八高線(八王子行)ー  
(8:11)東飯能駅(8:24)ー西武秩父線(西武秩父行)ー(8:30)高麗駅

所要時間:1時間26分 交通費 829円(片道)。

(4) コース:高麗駅ー登山口ー日和田山ー駒高ー物見山ー北向地藏ー五常の滝ー武蔵横手駅

**エスケープルート:物見山ー小瀬名ー五条の滝=45分短縮。**

\* 帰りの例:武蔵横手駅(14:45)発 東飯能駅(15:20)発 大宮駅(16:28)着

所要時間:1時間43分 交通費 860円(片道)。

\* 日和田山:標高305m、日高のシンボルとして親しまれている名山。石塔のある山頂より少し下った金刀比羅神社のあたりが見晴らしがよく、高麗の里や巾着田が望める。

\* 物見山:山自体は石灰岩の山である。東西に細長い頂上には、丸太ベンチが並ぶ。頂上標柱から北東へ50mほどに一等三角点がある。

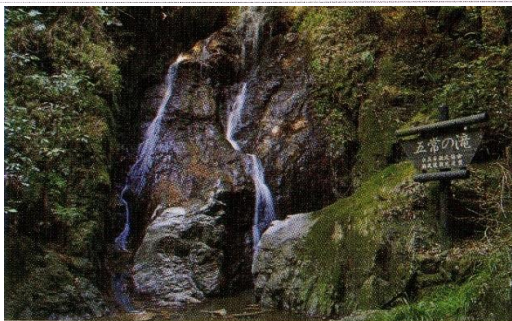
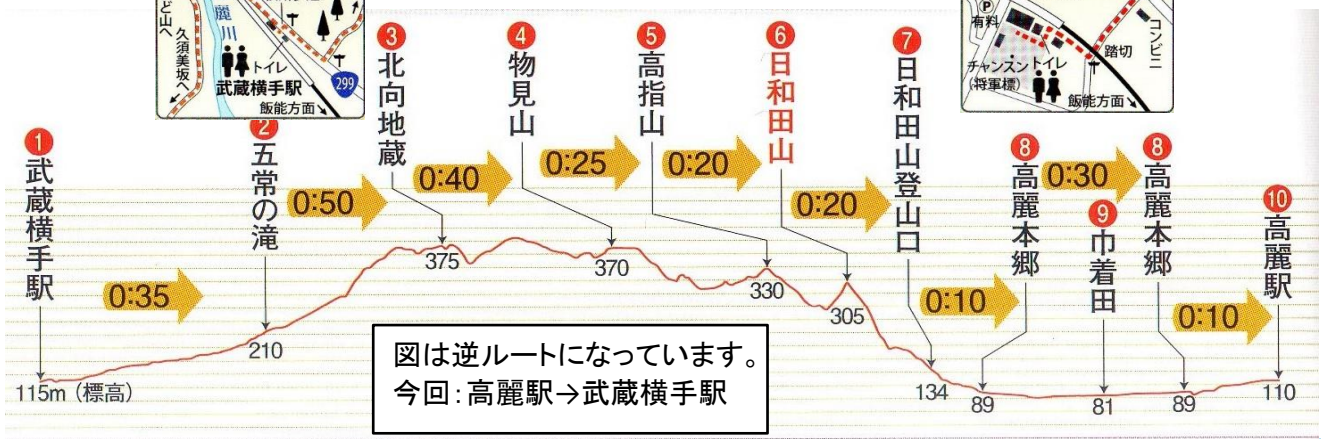
\* 北向地藏:その縁起は、天明三～四年(1783～4)の凶作が遂に大飢饉を生み、さらに悪疫の流行となり、東北諸国から南下しつつあった。権現堂村の市川源太夫勝豊は48名の里人とともに、野州岩船地藏尊に祈り、その分身として三体の地藏尊を譲り受け、天明六年2月、遙か北の方岩船地藏尊へ向かって建て、天・地・人ことごとくの守護として祀り、なお各地の罹災者のために念仏供養をして冥福を祈ったと伝えられている。

\* 五常の滝:落差がおおよそ12m。南北朝時代の武士たちが戦勝を祈願して、身を清めたという言い伝えが残っている。五常とは儒教でいう「仁・義・礼・智・信」の五つの徳のこと。

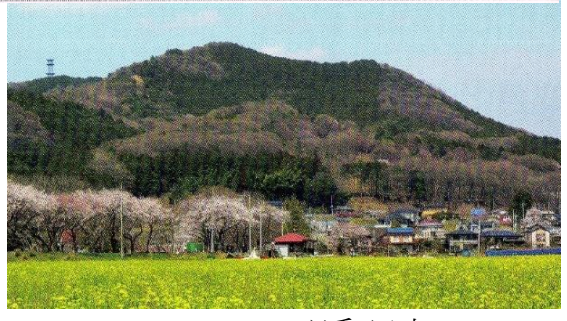
入山料:大人200円、開門時間:9:00～14:30、休山日:月・火・水・年末年始

(5) 持ち物:手袋、シート、飲み物、行動食(チョコ、クッキーなど)、保険証コピー、雨具、昼食、常用薬、ホッカイロ

\* マスク、除菌ティッシュ持参など各自でウイルス対策をしてください。



▲森に涼やかな音を響かせる五常の滝



日和田山